

# 声優芸能科 声優アーティストコース 受講科目一覧 2年次

文化・教養専門課程（文化・教養分野）

1 単位時間 45分

授業科目		年間授業 時間数	週授業 時間数	単位数
演習	課題台本ゼミナールⅡ	74	2	4
講義	ヴォーカル基礎知識Ⅱ	74	2	4
講義	音声技法Ⅱ	74	2	4
実習	ダンス応用	74	2	2
講義	声優基礎Ⅱ	74	2	4
実習	アフレコⅡ	74	2	2
講義	身体感情表現Ⅱ	74	2	4
実習	ヴォーカルⅡ(選択)	74	2	2
講義	言語感情表現Ⅱ(選択)	74	2	4
演習	ヴォイスアクター実習(選択)	74	2	4
講義	ナレーション応用(選択)	74	2	4
演習	ミュージカル/2.5次元ゼミナール(選択)	74	2	4
講義	声優スタッフ知識①(選択)	74	2	4
講義	声優スタッフ知識②(選択)	74	2	4
講義	セルフプロデュースⅡ(選択)	74	2	4
演習	表現パフォーマンスⅡ(選択)	74	2	4
実習	分野別実習Ⅱ	74	2	2
(選択授業のうち4つ選択)合計		888	24	40-42

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	課題台本ゼミナールⅡ		授業形態 / 必選	演習	必修
	学則別表上表記	課題台本ゼミナールⅡ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■声優芸能科 声優アーティストコース/声優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	福岡の劇団で演出を担当。福岡という地方で生まれた舞台を、別都市で上演することにこだわり、土地の空気を感じながらリメイクし、ツアー公演を行う。演出経歴16年。現在に至る。日本演出者協会主催の演劇祭による韓国戯曲の演出や、海外公演での舞台創作・演出家としても活躍。舞台俳優として、また舞台演出としての活動経験を活かした講義内容となっている。				
<b>授業概要</b>					
①文章の読解力、分析、構成を学ぶ。 ②課題戯曲の読み解き。 ③舞台作品の創作。					
<b>到達目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>作品を分析、構成を理解する力をつける。</li> <li>役者に必要なコミュニケーション力と柔軟性を獲得しする。(自分と他者、環境などを振り返り、言語化できるようになる)</li> <li>脚本、創作意図を理解、解釈し、演技で表現する。</li> <li>一つの作品を創作し、卒業公演として上演する。</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>空間を意識した発声と柔軟(年間で継続的に実施)</li> <li>呼吸と体幹のコントロールするための訓練(スローモーションやタイガーウォーク・年間で継続的に実施)</li> <li>卒業公演に向けて企画ディスカッション</li> </ul>
【前期】 5～8回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>テーブルゲームをつかったコミュニケーションとインプロゲーム・エチュード</li> <li>実生活に基づいた演技と再現性をエチュードを通して体感する。</li> <li>卒業公演の作品選定</li> </ul>
【前期】 9～12回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>卒業公演の作品決定</li> <li>卒業公演創作:7/15(金)からの開始を目標とする。</li> </ul>
【前期】 13～16回目	卒業公演創作
【前期】 17～19回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>卒業公演創作</li> <li>■前期試験:卒業公演の戯曲からワンシーンを選定しリハーサルを行う</li> </ul>
【後期】 20～23回目	卒業公演創作
【後期】 24～27回目	卒業公演創作
【後期】 28～31回目	卒業公演創作
【後期】 32～35回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>卒業公演創作</li> <li>■後期試験:卒業公演の戯曲からワンシーンを選定しリハーサルする</li> </ul>
【後期】 36～37回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>卒業公演創作</li> <li>■卒業公演 2/18(土)</li> </ul>
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する実技試験により「平常点 / 脚本読解力 / 演出意図の理解 / 言語化 / 演技力」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	一つの作品を観客に発表するまでには、たくさんの人々がそれぞれ専門とする仕事を集結させます。表方はそのなかの一つの役割です。声優、舞台俳優、映画俳優といったカテゴリーに関わらず、演じることで表現する職業を目指すにあたり、実際に作品を創作し、本番を体験することで、自分がどんな俳優・声優になっていくのかを考えていきましょう。
備考	この講座は、必ず動きやすい服装で参加してください。

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ヴォーカル基礎知識Ⅱ		授業形態 / 必選	講義	必修
	学則別表上表記	ヴォーカル基礎知識Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■声優芸能科 声優アーティストコース/声優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	YAMAHAポピュラーミュージックコンテストボーカル部門優勝経験を持ち、1999年よりアーティスト活動開始。歌手としてデビューし4枚のCDをリリースしている。黒人霊歌、ソウル、R&B、ジャズなど、アメリカンブラックミュージック中心に現在もライブ活動をしている。様々なジャンルの音楽に携わってきたヴォーカリストとしての活動経験を活かした講義内容となっている。				
<b>授業概要</b>					
①1年次に獲得した基礎発声を発展させ、声域を広げます。 ②響鳴や響きの位置を理解、実声での発声練習。 ③獲得した発声やテクニックを活かし楽曲を自分なりに表現、パフォーマンスする。					
<b>到達目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・習得した発声方法を定着させ、声域を広げる。</li> <li>・響鳴の多い体の使い方を習得する。</li> <li>・口角、唇、舌の動きを強化し、発音・発声を楽に行えるようにする。</li> <li>・正しいリズム感を身に着ける。</li> <li>・楽曲に取り組む、または自身で作成した際に、どのような歌唱が最適かを選び表現できるようにする。</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	基礎発声(実声での母音の発声) リズムトレーニング(オンビート・オフビート①)
【前期】 5～8回目	基礎発声(実声での子音と母音の発声) リズムトレーニング(オンビート・オフビート②)
【前期】 9～12回目	基礎発声(響鳴位置の獲得・口腔、咽頭、胸部、前頭部) リズムトレーニング(付点・二拍三連)
【前期】 13～16回目	基礎発声(響鳴位置の獲得・後頭部、うなじ) リズムトレーニング(変拍子・混合拍子)
【前期】 17～19回目	基礎発声(まとめ) ■前期試験:実声での母音、子音の発音チェック、各声区での声域チェック、響鳴チェック、リズムチェック
【後期】 20～23回目	歌唱時の発声・テクニックの分析 正しい発声のチェック
【後期】 24～27回目	歌唱時の発声意識・テクニックの実践
【後期】 28～31回目	響鳴ある発声での感情表現 歌詞とメロディの関係を読み解く
【後期】 32～35回目	課題曲歌唱(パフォーマンスも含む)
【後期】 36～37回目	歌唱テクニックまとめ ■後期試験:歌唱
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 実声 / 響鳴 / 感情表現 / 歌唱テクニックの理解」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	基礎発声が定着させ、日々のトレーニングや意識でそれを継続的に発展させ続けることが重要になってきます。表現するための土台がしっかりしていないと、表現自体が貧弱なものとなります。言葉に魂を込められるように、安定した土台をつくっていきましょう。
備考	必要に応じて、音源を使用。

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	音声技法Ⅱ		授業形態 / 必選	講義	必修
	学則別表上表記	音声技法Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■声優芸能科 声優アーティストコース/声優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	声優事務所「ぷろだくしょんバオバブ」所属。TVアニメ「恋姫†無双(主役・関羽役)」、TVアニメ「ななついろ★ドロップス pure!!(小岩井フローラ役)」など出演作品多数。アニメーション声優、洋画吹替声優、舞台、CMナレーションなどで、2000年より活動、現在に至る。声優としての活動経験を活かした講義内容となっている。				
<b>授業概要</b>					
<p>①1年次に引き続き、プロとしての発声・発音・標準語のアクセントの徹底をさせ、普段から使いこなせることを基本とします。</p> <p>②自身が持つ言葉のイメージを膨らませて、表現する技法を身につけます。</p>					
<b>到達目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々にあった発声・発音の徹底。</li> <li>・イメージを形にする基礎を身につける。</li> <li>・自身が使って話している音を、客観的に聞き分けられるように感覚を研ぎ澄ます。</li> <li>・冷静に「音・感情・読み方・演じ方」などの良さを判断する力をつける。</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人レベルチェック</li> <li>・目標達成シート</li> <li>・発声、発音基礎訓練(基礎の徹底)読書レポート(ビブリオバトル)</li> </ul>
【前期】 5～8回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発声、発音基礎訓練</li> <li>・個人課題克服練習(基礎の徹底)読書レポート(ビブリオバトル)</li> <li>・プレゼンテーション</li> </ul>
【前期】 9～12回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発声、発音基礎訓練</li> <li>・オーディション対策(自己PR 等)</li> </ul>
【前期】 13～16回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休み個人課題(夏休み明けレベルチェック)</li> <li>・発声、発音基礎訓練</li> <li>■前期試験:実技(自己PRを含めた文章表現、基礎全般)</li> </ul>
【前期】 17～19回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標達成シート前期評価、見直し、再設定</li> <li>・発声、発音基礎訓練</li> </ul>
【後期】 20～23回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オーディション対策</li> <li>・ビブリオバトル・プレゼンテーション</li> </ul>
【後期】 24～27回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発声、発音基礎訓練</li> <li>・オーディション対策・プレゼンテーション</li> </ul>
【後期】 28～31回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発声、発音基礎訓練</li> <li>・オーディション対策</li> </ul>
【後期】 32～35回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>■後期試験:発声、発音に特化した基礎から応用まで総合</li> <li>・基礎、応用振り返り</li> </ul>
【後期】 36～37回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発声、発音基礎訓練</li> <li>・目標シート振り返り</li> </ul>
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 言葉の基礎力 / 課題への取り組み / 応用表現力 / 研究心」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	言葉を操るプロとしてその自覚を持ち、自分の得意なところを伸ばし、不得意なところを補う訓練をする講義です。とにかく基礎の徹底、そして意思をもって表現できるように声を操れる感覚を意識づけしていきます。 即戦力としての基本をしっかり身につけたうえで、これから仕事をしていく上での最終準備をしていきます。
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「日本語の発声レッスン」</li> <li>・「アクセント辞典」</li> </ul>

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	殺陣パフォーマンスⅡ		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	ダンス応用	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■声優芸能科 声優アーティストコース/声優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	福岡を拠点に幅広いダンスジャンルで活躍中。2013年より某アーティスト専属バックダンサーを経て、AKB48、湘南乃風、倉木麻衣らと共演。現在はPVやCMに出演し、またミュージカル「刀剣乱舞」にも参加している。殺陣、バックダンサー、ミュージカルダンサー、振付師、ディレクターとしての活動経験を活かした講義内容となっている。				
<b>授業概要</b>					
<p>①舞台やミュージカルで必要なアクションや殺陣の応用を学びます。                  ②身体を使い音楽と組み合わせ、体験的に演技を学んでいきます。                  ③フォーメーションダンスと演技の融合にも取り組みます。</p>					
<b>到達目標</b>					
<p>・1年次の基礎をふまえ、さらに体を鍛え、個性を発揮できるようになる。                  ・個と集団での自分の責任を認識し、集団創造である舞台に立てるよう、協調性を養う。                  ・殺陣やアクションの応用を身につけ、フォーメーションでの動きを共演者と合わせる技能を習得する。                  ・感覚・思考・体験を身体・言語で表現できるようになる。</p>					
<b>授業計画・内容</b>					
【前期】 1～4回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体能力チェック及び基礎能力トレーニング</li> <li>・行動と知覚と思考について</li> </ul>				
【前期】 5～8回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・殺陣※ビートの決まった音楽に合わせて</li> <li>・フォーメーションダンス</li> <li>・舞台的動作の訓練(視線・体勢・開き)</li> </ul>				
【前期】 9～12回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・殺陣※ビートの決まった音楽に合わせて②</li> <li>・殺陣小作品①</li> </ul>				
【前期】 13～16回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衣装着付け復習</li> <li>・殺陣小作品②→ライブウィーク発表</li> </ul>				
【前期】 17～19回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミュージカルアクション小作品①</li> <li>■前期試験: 間合いによる基本殺陣と音に合わせた殺陣演舞の発表。</li> </ul>				
【後期】 20～23回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・殺陣基本動作の復習</li> <li>・ミュージカルアクション小作品②</li> </ul>				
【後期】 24～27回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミュージカルアクション小作品③</li> <li>・各自の課題点の洗い出し及びフィジカルトレーニング</li> </ul>				
【後期】 28～31回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミュージカルアクション小作品④</li> <li>・繰り返し撮影し都度フィードバック・フォーメーション、タイミングの確認</li> </ul>				
【後期】 32～35回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミュージカルアクション小作品</li> <li>・映像撮影</li> </ul>				
【後期】 36～37回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>■後期試験: 殺陣・ミュージカルアクションや自己表現の発表。</li> <li>一年間の振り返り</li> </ul>				
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 身体の言語化 / 集団創造力 / 体験の言語化 / 脚本理解力」の5項目の到達度を総合的に評価する。				
学生へのメッセージ	殺陣やアクションだけでなく、演技、ダンス、そして音に合わせて舞う演舞と演武を混ぜた表現ができるようにトレーニングしていきます。 決められた振り付け、フォーメーションの中でキラリと光る自己表現ができるよう頑張ってください！				
備考	都度楽曲CDを使用。また小道具として、殺陣用刀・竹刀・帯・その他を使用。				

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	声優基礎Ⅱ		授業形態 / 必選	講義	選択
	学則別表上表記	声優基礎Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■声優芸能科 声優養成/声優アーティストコース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	バラエティー番組のMCやラジオパーソナリティー、様々なイベントへの出演等、お笑い芸人として17年間活動。現在は、イベントMCを中心に活動しながらラジオ番組にも出演している。声優や俳優をゲストに招いたイベントにも多数出演しており、これらの経験を活かした講義を行う。				
<b>授業概要</b>					
①トークの技術を磨きながら、役者として、トークイベントや、バラエティ番組に出演した際の表現方法を学ぶ ②自己PRや面接での表現方法などを実践形式で学ぶ。					
<b>到達目標</b>					
・トークイベントや、トーク番組に出た際の自身に適した表現方法を模索し、外部に向けた話し方、自己表現の仕方を身に付ける。 ・自己PRや、面接での質疑応答など幅広い意味での「人対人」の対応力を高める。					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	・自己表現トレーニング ・トークをする際の心構え
【前期】 5～8回目	・一対一でのテーマトーク ※撮影後フィードバック
【前期】 9～12回目	・自己表現トレーニング 自己表現を行動・認知・感情の面から理解する
【前期】 13～16回目	・質疑応答トレーニング 相手の質問意図をくみ取り答えることについて体系立って学ぶ
【前期】 17～19回目	・模擬面接 ※撮影後フィードバック ■前期試験: 模擬面接
【後期】 20～23回目	・プロフィールシート作成、添削
【後期】 24～27回目	・質疑応答トレーニング 応答の速さ、質を上げる反復トレーニングを行う
【後期】 28～31回目	模擬面接 ※撮影後フィードバック
【後期】 32～35回目	トークバラエティ演習 ※撮影後フィードバック
【後期】 36～37回目	トークバラエティ演習 ※撮影後フィードバック ■後期試験: トーク企画実践
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する実技試験により「トーク技術 / 自己表現力 / 構成力 / 対応力 / 所作」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	話し方やテンポ、声量など自身の理想に近づけるためには、現時点での自身の表現力を認識した上で様々な事に取り組む必要があります。撮影した映像をしっかりと確認し、改善点を模索しながら理想の表現を実現させましょう。
備考	都度用意した原稿を使用

## 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	アフレコⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	アフレコⅡ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■声優芸能科 声優アーティストコース/声優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	声優事務所「ぷろだくしょんバオバブ」所属。TVアニメ「恋姫†無双(主役・関羽役)」、TVアニメ「ななついろ★ドロップス pure!!(小岩井フローラ役)」など出演作品多数。アニメーション声優、洋画吹替声優、舞台、CMナレーションなどで、2000年より活動中、現在に至る。声優としての活動経験を活かした講義内容となっている。				
<b>授業概要</b>					
<p>①自身の声をアピールできるヴォイスサンプルを作成するために、セリフ読み・ナレーション読みを研究・実践していきます。</p> <p>②戯曲を様々なアプローチで作りに上げていく。その行程を映像に残し研究材料としてみる。</p> <p>③アフレコ(アニメ・映画)はスタジオで実践形式で収録し、プロとしての意識を上げていきます。</p>					
<b>到達目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>芝居力・感性・イメージ力・対応力・瞬発力を、様々な作品・戯曲に触れることで考え、自己研鑽する。</li> <li>1年次の基礎を踏まえ、さらなる応用力をつけていくことによって演じることの楽しさを知る。</li> <li>作品作りに携わるという意識改革を、アフレコ実習を通して付けていく。</li> <li>即戦力としてプロの世界でやれるという根拠のある自信を持つ。</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	・戯曲実習・台本読解、身体表現、音声表現、キャラクター構築を自分の考えを通して作り上げていく。
【前期】 5～8回目	・戯曲実習 ・アフレコ実習 ・台本読解①(絵本、コミック)
【前期】 9～12回目	・戯曲実習 ・映画アフレコ学習 ・映画アフレコ①(洋画)収録実習
【前期】 13～16回目	・ヴォイスサンプル素材選定、練習 ■前期試験:アテレコ
【前期】 17～19回目	・ヴォイスサンプル振り返り ・アニメアフレコ実習
【後期】 20～23回目	・オーディション対策 ・アニメアフレコ①収録
【後期】 24～27回目	・アニメアフレコ② ・オーディション対策
【後期】 28～31回目	・アニメアフレコ(収録)
【後期】 32～35回目	・ヴォイスサンプル(準備) ・アフレコ大会準備 ■後期試験:実技(ヴォイスサンプル③収録)
【後期】 36～37回目	・最終スタジオワーク(アフレコ、アテレコ等) ・アフレコ大会
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点/応用表現力/責任感/現場状況判断/プロとしてやっていく気力」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	自身が持つセリフのイメージ力をどこまで際限なく広げられるか、レッスンの時だけでなく常に考えチャレンジしていくことが上達していく一歩です。普段の生活のすべてが役者のための体験の場だと認識して取り組んでください。 謙虚に実直に型にはまらず挑戦していくための技術を、丁寧に指導していきます。
備考	都度作成した原稿等使用。

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	身体感情表現Ⅱ		授業形態 / 必選	講義	必修
	学則別表上表記	身体感情表現Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■声優芸能科 声優アーティストコース/声優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	福岡の劇団で演出を担当。福岡という地方で生まれた舞台を、別都市で上演することにこだわり、土地の空気を感じながらリメイクし、ツアー公演を行う。演出経歴16年。現在に至る。日本演出者協会主催の演劇祭による韓国戯曲の演出や、海外公演での舞台創作・演出家としても活躍。舞台俳優として、また舞台演出としての活動経験を活かした講義内容となっている。				
<b>授業概要</b>					
①基礎の向上と、身体コントロール。 ②作品鑑賞。 ③関係性を表現する演技プラン					
<b>到達目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎において1年次に到達できなかった点を分析し到達する。</li> <li>・呼吸と体幹のコントロール(スローモーションやタイガーウォーク等・年間で継続的に実施)</li> <li>・空間を意識した発声(年間で継続的に実施)</li> <li>・俳優に必要なコミュニケーション力と思考方法を獲得する。(自分と他者、環境などを振り返り、言語化できるようになる)</li> <li>・なるべく多くの作品に読む・観る・演ずる形で触れ、様々なキャラクターを演じられる基礎を築く。</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空間を意識した発声と柔軟(年間で継続的に実施)</li> <li>・呼吸と体幹のコントロールするための訓練(スローモーションやタイガーウォーク・年間で継続的に実施)</li> <li>・作品鑑賞(野田地図『赤鬼』鑑賞) ■実施日:4/29(月)</li> </ul>
【前期】 5～8回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーブルゲームをつかったコミュニケーションとインプロゲーム・エチュード</li> <li>・名詞、形容詞、ト書きから戯曲の成り立ちを考える。</li> <li>・資料映像を使い、表現の違いを分析する。</li> </ul>
【前期】 9～12回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内戯曲を演じる。</li> <li>・ディスカッションを繰り返しながら演技プランを組み立てる。</li> </ul>
【前期】 13～16回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業公演創作</li> <li>■前期テスト:夏休み中に映画『聖杯たちの騎士』を鑑賞し、作品分析を発表、レポート提出。</li> </ul>
【前期】 17～19回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業公演創作</li> </ul>
【後期】 20～23回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業公演創作</li> </ul>
【後期】 24～27回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業公演創作</li> </ul>
【後期】 28～31回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業公演創作</li> </ul>
【後期】 32～35回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業公演創作</li> <li>■後期試験:俳優としての創作現場での取り組みで評価する</li> </ul>
【後期】 36～37回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業公演創作</li> <li>■卒業公演 2/18(土)</li> </ul>
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / コミュニケーション / 身体表現 / 演技力 / 完成度」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	演じるという行為は、日々の生活の中で意識的・無意識的に行われています。しかしそれを再現し、自身の肉体や言葉を作品として起していく作業には、考える力とそれを他者に伝える言語、コミュニケーションが必要です。 この授業では、様々な表現力を獲得するための思考力を、創作の実践を通して学びましょう。
備考	この講座は、必ず動きやすい服装で参加してください。

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ヴォーカルⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	ヴォーカルⅡ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■声優芸能科 声優アーティストコース/声優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	多数の有名アーティストとの共演を果たす。2011年にはLA、2012年にはNYにてLIVEパフォーマンスを行い、国境を越えおおきな反響を呼んだ。2015年にも再度NYへ渡り、毎月のイベント出演や野外イベントへの出演等、幅広く活動中。国内に留まらず、国外でも音楽に携わってきたヴォーカリストとしての活動経験を活かした講義内容となっている。				
<b>授業概要</b>					
①1年次に学んだ基礎を基に、歌唱力、表現力を強化していきます。 ②発声・発音・呼吸・リズム・詩の解釈をさらに深めていきます。 ③音色などのテクニックの強化をしていきます。					
<b>到達目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・圧倒的な歌唱力を身に付けるための方法を学び、課題曲、自由曲でそのメソッドに基づき歌うことができる。</li> <li>・全体で呼吸を合わせて歌うグループヴォーカルと、自分にしか出せないソロヴォーカルそれぞれの表現を見つける。</li> <li>・楽曲での歌唱テクニック、表現力をさらに向上する。</li> <li>・新曲をもらった時のアプローチ方法を理解する。</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年次の基礎の確認</li> <li>・発声・リズム・呼吸・音域チェック</li> </ul>
【前期】 5～8回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年次の基礎の確認</li> <li>・リズムの解釈・リズム取りの応用</li> </ul>
【前期】 9～12回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題曲による歌唱実習</li> <li>・自身の課題を認識する</li> </ul>
【前期】 13～16回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽曲を使ってダイナミクスや感情表現を強化する</li> <li>・自身の弱点の強化</li> </ul>
【前期】 17～19回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題曲のソロヴォーカルの発表</li> <li>■前期試験：前期内容の理解カテスト及び実技試験</li> </ul>
【後期】 20～23回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期の復習、確認</li> <li>・課題曲による発声、発音、呼吸、リズム強化①</li> <li>・グループヴォーカル</li> </ul>
【後期】 24～27回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題曲による発声、発音、呼吸、リズム強化②</li> <li>・グループヴォーカル</li> </ul>
【後期】 28～31回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自由曲による自己表現強化①</li> <li>・初見歌唱、楽曲のイメージを膨らませる</li> </ul>
【後期】 32～35回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自由曲による自己表現強化②動画採点</li> <li>・詩の持つ力を読み解く</li> </ul>
【後期】 36～37回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新曲のソロヴォーカルの発表</li> <li>■後期試験：後記内容の理解カテスト及び実技試験</li> </ul>
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 理解力 / 発声 / リズム感 / 表現力」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	1年生で学習したことをもとに、自分で考え、力を伸ばす思考力も鍛えていきます。 歌詞、メロディー、リズムの持つ力を全身で感じられるようになりましょう。 プロとして新曲をもらったときに教えてくれる人はいません。この講義で、プロとしてどうやって新曲に向き合っていくか、ディレクションに答えていくか、学んでいきましょう。
備考	自由曲・課題曲楽譜等

## 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	言語感情表現Ⅱ		授業形態 / 必選	講義	選択
	学則別表上表記	言語感情表現Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■声優芸能科 声優アーティストコース/声優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	1998年より福岡の劇団において舞台俳優・ミュージカル俳優として活動。多数の公演に主演女優として出演しており、自主公演も行っている。現在も福岡を中心に県外公演にも積極的に参加している一方、イベントMC・ナレーターとしても活躍中。公演においてダンスの振り付けも行っている。舞台俳優・ミュージカル俳優としての活動経験を活かした講義内容となっている。				
<b>授業概要</b>					
①1年次から継続して基礎訓練を行う ②感情解放の為のエチュード ③多様な原稿読み、シーンによって求められる読みの違いの考察					
<b>到達目標</b>					
・現場に合わせた原稿読みができる ・原稿、台本の内容をきちんと把握し自分の言葉で発語する ・自分本位な表現にならず周りから求められる事を考える ・とっさの要求に応えられる技術をつける					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	・発声、滑舌、など基礎練。感情表現の為のワーク(これらは全期通して行う)
【前期】 5～8回目	・館内アナウンス ・コンサート影アナ原稿
【前期】 9～12回目	・cmナレーション原稿
【前期】 13～16回目	・舞台進行 ・フリートーク
【前期】 17～19回目	・テスト対策 ■前期試験：課題原稿の朗読
【後期】 20～23回目	・前期の復習 ・原稿の違いを考察
【後期】 24～27回目	・映画ナレーション原稿
【後期】 28～31回目	・詩の朗読
【後期】 32～35回目	・短編小説朗読
【後期】 36～37回目	・テスト対策 ■後期試験：詩の朗読
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。学期末に実施する実技試験により「平常点/原稿読解力/表現力/技術/対応力」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	1年次に表現とは何か、自分にはどんな感情があるのかの確認作業を行ってきたかと思います。2年次では自分の中にある感情を外に出す、原稿、台本に落とし込む作業を行なっていきます。自分では思ってもいなかった表現が現れて戸惑うこともあるかもしれませんが、それもまた楽しみつつ技術を高めていきましょう。
備考	都度、原稿素材を使用。

## 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ヴォイスアクター実習		授業形態 / 必選	演習	選択
	学則別表上表記	ヴォイスアクター実習	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■声優芸能科 声優アーティストコース/声優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	TVアニメ「ポケットモンスターBW」、映画「ザ・パシフィック」など出演作品多数。演技のジャンルに囚われず、テレビドラマや舞台、ナレーターなど2009年より声優として幅広く活動。現在は、ナレーター、ボイストレーナーを中心に活動中。声優としてだけでなく、様々な現場経験を活かした講義内容となっている。				
<b>授業概要</b>					
①ゲームボイス収録等、一人での収録を想定し、仮想の相手をイメージした演技を学んでいきます。 ②媒体によって違う表現方法を訓練し、現場での対応力をつけていきます。 ③決められた尺(時間)に台詞をおさめられるように訓練します。					
<b>到達目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮想の相手を想定した、説得力のある演技ができるようになる。</li> <li>・相手の台詞を想像し、会話が出来るようになる。</li> <li>・ディレクションによる対応力を身につける。</li> <li>・声のバリエーションを増やす。</li> <li>・尺(時間)に合わせて演技できるようにする。</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体イメージトレーニング</li> <li>・浮く、距離感を合わせるなど</li> </ul>
【前期】 5～8回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動きを感じる声の演技</li> <li>・動かす、投げる、ダメージを負うなど</li> </ul>
【前期】 9～12回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・掛け合い台詞</li> <li>・いない相手を想定した演技</li> </ul>
【前期】 13～16回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャラクター、役作りについて</li> </ul>
【前期】 17～19回目	■前期試験：課題台本
【後期】 20～23回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期の振り返り</li> <li>・身体イメージの強化</li> </ul>
【後期】 24～27回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対応力の強化</li> </ul>
【後期】 28～31回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・得意分野の開拓</li> <li>・苦手克服</li> </ul>
【後期】 32～35回目	■後期試験：課題台本
【後期】 36～37回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年の振り返り</li> <li>・今後に向けた対応</li> </ul>
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 滑舌等基礎 / 表現力 / 瞬発力 / 伝達力」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	一人で収録するのは楽と思う人もいるかもしれませんが、相手の台詞をイメージするのはもちろんの事、ひとりでも役もやる場合もありますし、尺(時間)を気にしたりと、とても集中力がいられます。様々な題材を通して、一人で収録する際に必要な技術を身につけていきましょう！
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都度用意した原稿を使用。</li> </ul>

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ナレーション応用		授業形態 / 必選	講義	選択
	学則別表上表記	ナレーション応用	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■声優芸能科 声優アーティストコース/声優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	TVアニメ「ポケットモンスターBW」、外画「ザ・パシフィック」など出演作品多数。演技のジャンルに囚われず、テレビドラマや舞台、ナレーターなど2009年より声優として幅広く活動。現在は、ナレーター、ボイストレーナーを中心に活動中。声優としてだけでなく、様々な現場経験を活かした講義内容となっている。				
<b>授業概要</b>					
<p>①2年次では様々なナレーションに触れ、現場によって異なる表現方法を理解していきます。</p> <p>②メディアによって違う表現方法を訓練し、現場での対応力をつけていきます。</p> <p>③ナレーション原稿が何を誰にどのように伝えたいのか、しっかりと理解する力をさらにつけていきます。</p>					
<b>到達目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な分野に合わせた表現で、ナレーションを読むことができる。</li> <li>・時間の決まっているナレーションに対応できる力を身につけていく。</li> <li>・自分の得意とする読み方やジャンルを理解し、プロとして仕事として成立するナレーションを読めるようになる。</li> <li>・数多くの原稿に触れることで、原稿の伝えたいこと、要点を理解する能力を身につけ、それを的確に表現する力を養う。</li> <li>・自身でナレーション原稿を作成することで、文章力と対応力を養う。</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己紹介文のナレーション原稿作成</li> <li>・ディレクション能力の育成</li> </ul>
【前期】 5～8回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リテイクについての考え方</li> <li>・個性とストレートの考え方</li> </ul>
【前期】 9～12回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オーディション対策</li> </ul>
【前期】 13～16回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・媒体に合わせたナレーション</li> </ul>
【前期】 17～19回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>■前期試験：課題原稿</li> <li>初見の対応力・アクセント・声たて・秒数感覚など総合的にチェック。</li> </ul>
【後期】 20～23回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期の振り返り</li> <li>・苦手を克服</li> </ul>
【後期】 24～27回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語り(自然なしやべり)</li> </ul>
【後期】 28～31回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個性の強化</li> <li>・初見読みの強化</li> </ul>
【後期】 32～35回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>■後期試験：課題原稿</li> <li>内容を的確に伝達・表現できているかチェック。</li> </ul>
【後期】 36～37回目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年間の振り返り</li> <li>・今後に向けての課題</li> </ul>
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 滑舌等基礎 / 表現力 / 伝達力 / 独自性」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	2年次では、ナレーションの内容やイメージを的確に伝えられるような表現技法を学んでいきます。様々な原稿を通して、自分なりの表現を身につけ、代わりのいないナレーションを目指します。たくさんの本や原稿に触れ、要点を的確にまとめ、伝達する力を養っていきましょう。
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都度準備した教材を使用。</li> </ul>

## 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ミュージカル2.5次元ゼミナール		授業形態 / 必選	演習	選択
	学則別表上表記	ミュージカル2.5次元ゼミナール	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■声優芸能科 声優アーティストコース/声優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	1998年より福岡の劇団において舞台俳優・ミュージカル俳優として活動。多数の公演に主演女優として出演しており、自主公演も行っている。現在も福岡を中心に県外公演にも積極的に参加している一方、イベントMC・ナレーターとしても活躍中。公演においてダンスの振り付けも行っている。舞台俳優・ミュージカル俳優としての活動経験を活かした講義内容となっている。				
<b>授業概要</b>					
①舞台本番を想定した作品制作 ②台本を通じて、舞台場での立ち位置、役回り、見せ方、の研究 ③テクニカルとの合同授業でテクニカルサイドとコミュニケーションを図る。					
<b>到達目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・台本と向き合いながら、役作りだけでなく自分の役のポジション、立ち回り方、見せ方など舞台上を俯瞰して見れる役者を目指す。</li> <li>・その作品、役柄に求められる身体づくりを行う。</li> <li>・テクニカルの方達と共に制作する事により、作品を作り上げる上での自分の役割を学び、練習から本番までを円滑に進めるためのコミュニケーション能力を身に付ける。</li> <li>・ミュージカル、2.5次元ミュージカルの違いを考察し、役者として何が求められているのかを考えられる役者になる</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	・ミュージカルと2.5次元ミュージカルの違いの考察、基礎練歌唱レッスン(基礎練は全期通して行う) ・ミュージカルの歴史～ブロード・ウェイからロンドン、日本のミュージカルまで～
【前期】 5～8回目	・ミュージカルの発声方法 ・ミュージカル制作①
【前期】 9～12回目	・ミュージカルの所作①基本の立ち方、連続した動き ・ミュージカル制作②
【前期】 13～16回目	・ミュージカルの所作②役柄ごとの普遍的イメージ ・ミュージカル制作③
【前期】 17～19回目	・テクニカルとの合同授業(ミュージカル作品発表) ■前期試験:課題曲歌唱。歌唱時の身体表現も共に評価する。
【後期】 20～23回目	・ミュージカル作品発表振り返り ・次回作に向けてのディスカッション
【後期】 24～27回目	・衣装着付け ・2.5次元ミュージカル制作①
【後期】 28～31回目	・ミュージカルの所作③コメディ・リリーフ ・2.5次元ミュージカル制作②
【後期】 32～35回目	・殺陣応用 ・2.5次元ミュージカル制作③
【後期】 36～37回目	・2.5ミュージカル作品発表 ■後期試験:課題曲歌唱。殺陣アクションなども共に評価する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。学期末に実施する実技試験により「平常点/読解力/表現力/歌唱力/空間把握」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	今、ミュージカルの表現方法は多岐にわたっています。また、2.5次元ミュージカルとミュージカルの垣根も曖昧になってきました。そんな中でどちらの舞台でも活躍できる俳優はどこの舞台でも重宝されると思います。作品を読み解くことはもちろん作品に求められる体づくり、演出家が求める世界観、世界観を伝える為の歌唱力、お客様が納得するキャラクター作り、本当にやることは山積みです。とはいえ焦らず、1年間使ってじっくりと自分に合ったやり方を模索していきましょう。
備考	動きやすい靴で参加して下さい。

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	声優スタッフ実習①		授業形態 / 必選	講義	選択
	学則別表上表記	声優スタッフ知識①	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■声優芸能科 声優アーティストコース/声優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	絵画教室講師、3DCG映像制作会社勤務を経て、現在フリーランスのイラストレーターとして活動中。 大手食品メーカー店内イラストや冊子挿絵、様々なパンフレットデザイン等、幅広く活動。作家として、ライブペイントや個展・グループ展も開催。その他、デザイン系専門学校講師兼任。				
<b>授業概要</b> Adobe Illustrator、Photoshopの基本操作や応用方法を身につけ、DTPについて実習を行う。					
<b>到達目標</b> ・DTPに必要なPC技術を学ぶ。 ・フライヤーやグッズなど入稿作業を身に付ける。 ・色やフォントの効果を理解し、目的に沿ったデザイン表現が出来る。 ・作りたいものをそのまま形にすることが出来る。					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	「Illustrator 基本操作・練習問題」 アートボードの作成・テキスト・図形・柄・整列・重ね順 等。
【前期】 5～8回目	「ロゴマークデザイン」 パス練習後、既存のロゴマークを分析。架空の店舗やアルバイト先のリメイクとしてオリジナルロゴを作成。
【前期】 9～12回目	「名刺デザイン」 規格サイズを元に形から考える。自分らしさが出る名刺に。
【前期】 13～16回目	「Live Weekフライヤー制作」 色やフォントの効果、文字の配置について説明後制作。
【前期】 17～19回目	「Photoshop 基本操作・練習問題」 写真切り抜き・加工 等。 ■前期試験：メニュー表 好きな食べ物屋さんを選び、連想出来るデザインに。レイアウトに沿って写真も加工する。
【後期】 20～23回目	「学園祭フライヤー制作」 入稿すると想定し、トンボやガイド、アウトライン化を覚える。
【後期】 24～27回目	「CDジャケット制作」 架空アーティストか、既存アーティストのジャンルが変更されたと想定し、制作。
【後期】 28～31回目	「グッズ制作」 自身の公演のグッズ、または架空アーティストのライブグッズを想定し、制作。
【後期】 32～35回目	「卒業公演フライヤー制作」 公演に沿った効果的なデザインに。
【後期】 36～37回目	「卒業公演 チケット展開」 印刷時に最適なフォントサイズであるか、フライヤーがなくても単体で公演を把握できるものであるか。 ■後期試験：映画ポスターパロディ 既存のポスターを文字リ、フォントデザインも寄せる。写真も加工し、置き換える。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 提出 / 美しさ / オリジナリティ / 期限内」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	Adobe Illustrator・Photoshopは、フライヤー制作や写真の加工をベースに、アイコン・ヘッダーの作成から動画の素材等、幅広くデザインすることが出来ます。よって、どのような業界であってもAdobeソフトを扱えることは大きな武器になります。 様々な制作物に取りかかる中で操作を覚えることはもちろん、デザインコンセプトまで説明出来るよう考えながら制作していきます。
備考	

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	声優スタッフ実習②		授業形態 / 必選	講義	選択
	学則別表上表記	声優スタッフ知識②	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■声優芸能科 声優アーティストコース/声優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	<p>絵画教室講師、3DCG映像制作会社勤務を経て、現在フリーランスのイラストレーターとして活動中。            大手食品メーカー店内イラストや冊子挿絵、様々なパンフレットデザイン等、幅広く活動。作家として、ライブペイントや個展・グループ展も開催。その他、デザイン系専門学校講師兼任。</p>				
<b>授業概要</b>					
<p>①Adobe Premiere Proの基本操作や応用方法を身に付け、学内イベントに関連した映像作品の制作を行う。            ②必要に応じてAdobe After Effectを使用し、モーショングラフィックスを作成したり、Adobe Character Animatorでアニメーションにも挑戦する。</p>					
<b>到達目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・動画編集に必要なPC技術を学ぶ。</li> <li>・情報量も含めて尺内に収める為、絵コンテから考えることができる。</li> <li>・公演に沿った動画編集が出来る。</li> <li>・必要な素材の選定判断を身に付ける。</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	「Premiere Pro 基本操作」シーケンスの設定・カット・不透明度・エフェクトの種類 等。
【前期】 5～8回目	「テロップ入れ」文字デザインから走り書きアニメーションまで。
【前期】 9～12回目	「CMトレース」レイヤーや画面構成を分析し、既存のCMをトレースする。必要に応じて画像の透過加工も行う。
【前期】 13～16回目	「CM制作」自分の好きなものや身近なものをテーマに15秒CMを制作。軽い絵コンテから撮影、BGM選びまで。
【前期】 17～19回目	「モーショングラフィックス」After Effectを使用し、軽いアイキャッチを制作。 ■前期試験: 学科紹介CM 自分の学科の概要を簡潔に紹介。
【後期】 20～23回目	「学園祭 CM」15秒尺で学園祭の宣伝。
【後期】 24～27回目	「学園祭ダイジェストムービー」公演を振り返って当日の映像やエンドロール等、組み合わせる。
【後期】 28～31回目	「Live Week CM」15秒尺でLive Weekの宣伝。
【後期】 32～35回目	「卒業公演CM」練習風景をベースに、公演に沿った世界観で予告を制作。
【後期】 36～37回目	「キャラクター」Illustratorでオリジナルのキャラクターを制作。部位ごとにレイヤーも分別。 ■後期試験: アニメーション Character Animatorを使用し、パペットを動かす。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 提出 / 尺 / 情報量 / 期限内」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	普段何気なく目にするCMや映像には様々な要素が盛り込まれています。授業では、既存の映像から紐解いて制作する上で必要な情報を絞る力をつけます。そしてAdobeソフトは互換性があるため、基本の動画編集ではPremiere Pro、加工の際はAfter EffectとCharacter Animator、サムネイルにはIllustrator等、複数のソフトを使いこなしながら操作を覚えていきましょう。
備考	

## 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	セルフプロデュース II		授業形態 / 必選	講義	選択
	学則別表上表記	セルフプロデュース II	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■声優芸能科 声優養成/声優アーティストコース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	音楽学校卒業後、2015年よりフリーで作詞作曲をすると同時に、DAW講師として活動。 アイドルグループへの楽曲提供及び編曲を多数行うとともに、レコーディングディレクターとしても活躍。現在に至る。				
<b>授業概要</b>					
<p>①個性を磨き、SNS等を通じて発信することで自分の声の魅力や現在行っている活動をアピールする。 ②DAW/MIXの応用技術を習得する。</p>					
<b>到達目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・宅録からアップロードまでを全て一人で行えるようにする。</li> <li>・動画やヴォーカルエディットのクオリティを高め、オリジナリティ溢れる作品を作り上げる。</li> <li>・定期的に動画を投稿しファンを増やす。</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	レコーディング。ディレクション。(注目されやすい流行りの曲が好ましい) 自身のブランディングを考える。
【前期】 5～8回目	エディット作業～動画投稿。
【前期】 9～12回目	レコーディング。ディレクション。 行き詰った箇所の確認。トラブルシューティング。
【前期】 13～16回目	エディット作業～動画投稿。
【前期】 17～19回目	レコーディング。ディレクション。 ■前期試験:実技(セルフレコーディング・ミックス)
【後期】 20～23回目	エディット作業～動画投稿。 自身が投稿したコンテンツの分析。
【後期】 24～27回目	レコーディング。ディレクション。 流行りのコンテンツの傾向の考察。
【後期】 28～31回目	エディット作業～動画投稿。
【後期】 32～35回目	レコーディング。ディレクション。 ■前期試験:実技(アップロード)
【後期】 36～37回目	ポートフォリオの作成。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(50点以上)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する実技試験により「平常点 / 動画合成 / セルフレコーディング / オリジナリティ / 自己プロデュース」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	宅録からアップロードまでの流れは一年次で習得できたかと思います。 今年度は回数をこなし、より質の高い作品を作り上げていきましょう。 また、SNSを効果的に利用するために、自身のブランディングをしっかりとできるようになりましょう。
備考	

## 専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	表現パフォーマンスⅡ		授業形態 / 必選	演習	選択
	学則別表上表記	表現パフォーマンスⅡ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■声優芸能科 声優養成コース/声優アーティストコース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	バラエティー番組のMCやラジオパーソナリティー、様々なイベントへの出演等、お笑い芸人として17年間活動。現在は、イベントMCを中心に活動しながらラジオ番組にも出演している。声優や俳優をゲストに招いたイベントにも多数出演しており、これらの経験を活かした講義を行う。				
<b>授業概要</b>					
<p>①バラエティー番組やイベントでのゲームコーナー、情報番組に出演した際の表現方法を学ぶ。                  ②様々なジャンルでの出演を想定した実践形式の演習を行い、撮影後フィードバックを行う。</p>					
<b>到達目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・フリートーク、スピーチ、インタビューなど、テレビ・ラジオの仕事をする上で必須となる技術を身に着ける。</li> <li>・企画そのものへの理解を深め、企画ごとに適した対応力、表現力、技術を習得する。</li> <li>・自身が得意とするもの、不得意とするものが何なのか認識し、自身の強みを発見する。</li> </ul>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	バラエティー企画に出演する際の心構え 司会進行・MC基礎
【前期】 5～8回目	バラエティー企画実践① 報道・ドキュメント ※撮影後フィードバック
【前期】 9～12回目	バラエティー企画実践② クイズ・ゲーム ※撮影後フィードバック
【前期】 13～16回目	バラエティー企画実践③ コント・コメディ ※撮影後フィードバック
【前期】 17～19回目	■前期試験：バラエティー出演収録、チェック 前期バラエティー企画振り返り
【後期】 20～23回目	表現トレーニング
【後期】 24～27回目	現場リポート実践 ※撮影後フィードバック
【後期】 28～31回目	MC実践 ※撮影後フィードバック
【後期】 32～35回目	バラエティー企画実践に向けてオリジナル企画考案
【後期】 36～37回目	■前期試験：オリジナルバラエティー企画収録、チェック 後期バラエティー企画振り返り
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「企画への理解/自己理解/表現力/洞察力/対応力」 の5項目の到達度を評価する。
学生へのメッセージ	バラエティーでは、自分がどのように表現すればショーとして成立するのか、今自身に求められていることは何なのか、常に考え続けなければいけません。様々なジャンルの企画を経験する事で『対応力』の幅が広がります。 演習を通して自分の得意ジャンル、不得意なジャンルを認識しましょう。
備考	都度用意した原稿を使用